

'04 のべおか 第九

のべおか第九だより（第352号）

2004年12月5日（日）

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局（延岡総合文化センター内）

882-0852 延岡市東浜砂町611番地2

電話 (0982) 22-1855

<http://www.horita.jp/dai-9.html>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。----

練習の区分	前回の練習	会員数	出席数	出席率	自己採点
指揮者の注意点を復習 通しての練習	◆ ソプラノ	38人	24人	63.2 %	70.0 点
○ A (237~330小節) p.9~17	♥ アルト	79人	68人	86.1 %	72.0 点
○ B (411~654小節) p.20~33	♣ テノール	25人	16人	64.0 %	62.2 点
○ C (655~762小節) p.34~43	♠ バス	29人	25人	86.2 %	65.7 点
○ D (795~920小節) p.46~58	● 合 計	171人	133人	77.7 %	68.7 点
12月11日まであと6日					

11月26日の直接指導から…



@現田先生の指導

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス

★…お話

(ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。)

- 238 【Freu-de!】 いい感じだけどね、ちょっと音が落ちるのが早い。たとえば6/8になって付点4分音符と4分音符になったりするじゃないですか。基本的にここは同じ4分音符なんだけど最初の4分音符“Freu-”のほうが長く。“Freu-de!”って落とさないで、戻すの。子どもの遊ぶ道具であるじゃないですか。あれ。“-r-”巻いて、もうちょっと“ポン-ポン”。



- 257 【Dei-ne Zau-ber～】 あとで8分音符で“Küs-se gap sie”（313～）となったときに4分音符がいつも8分音符のタイだという意識もって。（今は）少し音がボソボソしているんです。4分音符を歌っていると思わないで、8分音符のタイを歌っているつもりで特に“den”（258）・“die”（259）の部分など、もうちょっと一つ一つの音に伸びを。

……3年前にもやりましたので、覚えていらっしゃる方も多いと思いますが、音というのは“母音のキャンディ”があって、それを“子音のラップ”で包むんです。真ん中は母音がちゃんとつまっ

てる。その両側を子音がクルッと包んでいる。“Dei-ne” “Zau-ber” “bin-den” …口語でやりますから、後ろの“r”などは必ず巻いてください。



- 257 【Dei-ne Zau-ber】 “Dei-ne”的語尾の“e”は“o”的形の口で。暗い口で。
…… “-ne”が“…ね”って子どもみたいな“-ne”になっている。ちょっとだけ“…オ”子どもが親に反抗して言う“-ne”って感じの。そしたら、もうひとつ大事なのが「あなたの魔力」。
“Dei-ne Zau-ber”。 “Dei-ne” “Zau-ber”じゃないの。続いて“bin-den wie-der,” “was die Mo-de” …。フレーズをもうひとつ分だけ長く。

- 258 【bin-den wie-der,】 もうたくさんおやりになった方も多いと思うけど、“b-”と“w-”は、必ず唇を閉じるときと下唇を噛むとき。それで、みなさんは“bin-den”が速すぎるんです。“ビン-デヘン”。8分音符を歌うときには、もう一度“h”を言うような要領で。

- 259 【was die Mo-de】 “Mo-”はもっと口をとんがらして。

- 260 【streng ge-teilt; al-】 “スト…”じゃなくて“シュト…”。そして“n”が早い。“e”でもうちょっと伸ばして。英語の“strong”だからね。そしてできたら“…lt;”（子音）。
……もっと“streng”に勢いをつけて。



- 264 【Flü-gel weilt.】 “Flü-gel”、ピアノのこの部分ですね。ピアノを縦にしたら“羽”的形をしているでしょ。“Flü-”は“フリュー”じゃなくて“フリオー”。この羽みたいな形のように。前に押さないで後ろに飲み込むように。“F”はもうちょっと息を使って。
……皆さんの“Brü-der!”と“Flü-gel”が似てる。“Brü-der!”はかき分ける、“Flü-gel”は逆でまとめるの。そうやってイメージしてくださると、「あなたの柔らかい羽交いのもとに兄弟になる」んだな。

……いい感じだから、あとはここ（お腹）の筋力を瞬時に使う。（今は）3年ぐらい履いたパンツのゴムみたいになってる（笑）。もっと“キュ!”って締まって欲しいんだけど。だから“パッ!”と息を吸って欲しいんです。息っていうのは掃除機みたいに吸うわけじゃないんです。科学的に言うとここ（お腹）をパッと開くと外の気圧と中の気圧が変わってくるから、気圧を一定にする為に空気がパッとはいるわけね。一瞬にしてお腹を広げれば息ははいります。プレスはなんのためにするかというと（お尻から空気を入れているわけではないから）どこかで絶対吸わなければいけない。でもそれで音楽の流れをこわさないように。じゃ、凄いざるい言い方ですけど、無意識に吸ってください。

- 284 【Ja,～】 ((292)まで歌って) 終わりはとっても上手。最初がよくない!?そしてもう少し語尾をしっかり。

- ◇ 287 【sein nennt auf dem】 “nennt” 同じ8分音符2つの2つ目が聞こえない。言いづらいんですけど、8分音符の2つ目は必ず言い直してください。



- 289 【_ wer's nie ge-】 sfのあとは “-konnt,” までcresc.なんですよ。ピアノ譜をみてください。みんなのsfが付いたところにpoco cresc.と付いているでしょ。ここは結構cresc.してるんだけどまだ cresc.なんですよ。だから “ge-konnt,” で逃げないでdimが書いてある所までcresc.してください。

- 313 【Küs-se gap sie～】 そうそう、だけどなんか網に捕まってしまったフグみたいだ（笑）。一生懸命おなかを膨らませているんだけどもうこれ以上出ませえんって（笑）。8分音符は攻めまくるんです。つらいけど2つ目の8分音符はとことん歌うの。8分音符2つというのは4分音符より主張しないといけない。問題はいかにその緊迫感を持久するか。

- ★ 313 【お話し】 考えてみてください。我々オーケストラは65分くらいここまで演奏してきているのに、あなたたちは最後に入ってきて感動を全部持っていくわけでしょ（笑）。だからその事に関する責任感というか、我々が一生懸命1楽章から3楽章までやってきて、中には寝ているお客様もいるというのに（笑）、4楽章に入ってきてパッと起き出すわけで（笑）、その責任をあなたたちは果たさなければならない!…もうちょっとイメージね、「接吻を与える…」これはよく考えると凄いことを言っているんです。「死でもって試される…」こんなことは普段の世の中ではないし、でも最近はそういうことを考えないといけないという事件もたくさんあるしね、もっと声を出すということはなんかこう、厄払いなのよ。体の中にある悪い物を出す!…お祈りのオバチャンみたいなの、人の魂がとりついで「ワッ」と。あれとおんなじなのよ。



……体の中の良いものや悪いものを出すというのは、すべての芸術の始まりなのね。最初我々がまだ類人猿だった頃は「オー、オオ」て通じていた、だんだんそれだけじゃ足りなくなってきて言葉がついて、言葉がつけばメロディーがついてくるわけね。それが成り立ちなわけだから、問題のは “Küs-se” “gap” “sie” も大事なんだけど、“Küs-se gap sie” もっと詩人になってほしいんだけどな。この詩がだんだんこれだけでは足りなくなってメロディをつけたくなってくるわけなんだから。そういうテンションでがんばりましょう。

- ♡ 315 【ei-nen Freund, ge-】 全部、8分音符の2つ目は言い直すんです。“ei-nen” は “アアハイ-ネエヘン” だと思って。母音だけの言葉というのはアクセントが付けにくいから、あえて “h” の子音を入れるぐらいのつもりで2つ目の8分音符を歌ってください。

- 411 【Lau-fet,】 一番やってほしいことはね、付点4分音符のところと4分音符のところ。もう1回、今晩、楽譜を見ておいてください。例えば “Lau-fet,” (411)と “Brü-der!” (412)。4分音符も付点4分音符も割と似て聞こえています。

- 415 【freu-dig,】 “freu-dig, wie ein” (415,416)は後ろが4分音符。
- 417 【Held zum_】 “zum_” をはっきり言いたいから、“Held” の後ろに休符があるんです。
- 419 【wie ein】 “wie ein” は両方4分音符。
- 427 【wie ein】 後ろの “wie ein” は両方付点4分音符です。なぜかというと、cresc.するために長さが必要なんです。
- 428 【Held_】 言葉のためにsfが付いています。
- 430 【Sie--】 “Sie--gen!” “勝利のため” はもうちょっと言葉で。言葉の語勢のために4分音符だったり付点4分音符だったりしますから、ちょっとそれを意識して…



- 431 【--gen!】 “n!” は必ず口を開けて終わってね。
- ★ 431 【お話し】 僕ねえ、昔はいいテノールだったんだけどね。練習で悪声ばっかり出しているもんだから、とうとう上のSも出なくなってきたてしまったんです。そういうことがないように皆さんには心して美声を出すようにしてください。どうしても私は練習中に大きな声をださなくてはならないから本当に声というのが出なくなってしまったな、と。これでも昔は“乾杯の歌”なんかをきちんとテノールの声で歌えたりしてたんだけどな（笑）。声というのは気分だし生ものだから大事に使ってください。たとえば学校の先生などが練習に参加されていると思うけど、子どもを前に（美声で）“いいかい?”なんてなかなか言えないことがあると思う（笑）。どうしたって勢いで言わなければならないこともあるだろうけど、その勢いで合唱をやると喉を壊してしまったりする。高い声を出すときは、もうちょっと前から狙ってボーンと出せるようになるといいかな。物事ってなんでもそうだけど、先に予知するといいことがたくさんあるんだよね。一番単純なこと「3分先のことがわかつたらみんな大金持ち!」競馬競輪かけごとみんな当たる（笑）。そこまで行かなくて1秒先のことがちゃんとわかっているだけで事故が起こらなかったりとかいろいろない事がありますので、声も次のことをイメージしてから出すという、前にも言ったかもしれない“想像してから創造する”ということ。僕はとっても好きな言葉なんだけど“imageしてからcreateする”。だから次の音がわかってその声を出す。



- ★ 543 【お話し】 これも僕はいろんなところで言ってるんだけど、「“風呂”は先にはいる。」ここは “eu-de,…” が基本です。必ずオンザビートは母音の“オ”が来るようにしてね。子音の“フロ”は先にはいる。ここは管楽器もみんなメロディをやってるし、弦楽器もピアノでやると難しいもの

をやっています。そこで我々が一番大事なのが横の響き。これはオーケストラも手伝ってくれるから、あまり無理やり出さない。コーラスに絶対してほしいのは、さっきお伝えした両端の子音。だから大きな音符の母音を歌うちょっと前の子音はコーラスではできないんです。だからその子音をちょっと先回りして、少し早めに美しく僕と一緒に出す。



……今、最初しか狙ってない。“Freu-de,”（歓び）“schö-ner Göt-ter-fun-ken,”（美しい神々の火花）“Toch-ter aus E-ly-si-um,”（楽園の乙女）これを歌うときひとつづつイメージとして塊で見えてほしいんです。我々が日本語を考えるときは絶対そうなのよね。“歓び”の“よ…”って言ったときは“歓び”というのが出ているでしょ。漫画の吹き出しみたいに出てると思う。外国語を歌うと“Freu-”と歌うと“フロ”しかない。だから“Freu-de,”の“フ”になって欲しいわけ。そういうニュアンスを出しましょうか。

……“Freu-de,”“schö-ner”“Göt-ter-”“fun-ken,”“Toch-ter”“aus”“E-ly-si-um,”と分けて歌うのはそろそろ卒業しましょう。僕とも3回目でしょ。もうちょっとラインが出るように。“Freu-de,”“schö-ner Göt-ter-fun-ken,”“Toch-ter aus E-ly-si-um,”をやってみましょう。

……だんだんイメージがわかつてきたんだと思う。そうすると曲が短く感じてくるの。これを切って歌っていると「Dei-ne Zau-ber」が1回歌ったっけ2回目だったっけ?」（笑）。フレーズを長くしていけば、まだ1回目、もう2回目とはっきりわかるから。

- 596 【schlun-gen, Mil～】ちょっとだけ“schlun-”と言うのが速い。“シュルン…”としほんじゅうから（笑）。“Seid”はbe動詞ですね。“um-”が“囲む”です。“-gen,”“-nen!”この語尾の響きがちょっと少ないから、口を閉じちゃってる人が何人かいいるのかもしれない。だから口を開いて響きを残しながら。（この前の“um-”は閉じる。）



……さっきの言葉、思い出してください。例えば2分音符があったら、音符はそのまま母音が伸びている。その両側を子音で包む。“Seid um-”の“m”が音符の真ん中にきちゃダメなの。音符の最後に“m”。 “m,s,t,h…”全部、両側に来る。

……だからちょっと速いって。その“・”はマルカートの意味ですから、音符自体はもっとしっかり伸ばして。音符自体はセパレートされていますが、皆さんのは丸まったようになっている。

……そうそう、でも難しいだろうけど、こんなことやって指揮は本番にできないんだからさ（笑）。あなたたちがちゃんと音符は伸ばす、音符の終わりを子音で包むという意識で歌って。

……あ～疲れた疲れた!（笑）。音符の最後を子音で包む、そこまで母音で頑張る。

- 611 【Brü-der!～】惜しいなあ、惜しいなあ…ここは頑張ってほしいな。音、高いけど。次の“ü-berm Ster-nen-zelt”はもっと頑張る。一番やってほしいのは、男性、ここはffなんですよ。もちろんユニゾンだし、演奏しているのはチェロとコントラバスと3番トロンボーン、そして皆さん。だからあんまり無理やりやる必要はないんだけど、堂々として歌う。そうすると、この次の“Brü-der!”の

ところはfひとつなんです。聖母の慈愛のように上から音が降ってきてほしいの。

- 626 【woh-nen.】 僕は最後の“n”、歌い終わったときに口を閉じているのが一番嫌い。必ず見るからね。ちゃんと唇が開いて“エ”の形をして、舌が上の歯の裏について音符を切る。だから顔は絶対動かさないで舌だけで“-nen.”と。口も動かさない。日本語の“円”みたいに口を動かさない。…動いてるよ! (笑)。ご自宅で顎を触りながら確認して。惰性で歌っていると絶対動くよ。口を開いて終わるといいことだらけなんだよ。口の中が小さいんだけど音響の空間になって響きがちゃんと残るの。



…… (笑) いまいい感じだった口は残ってるけど音は残ってない (笑)。“ネー”って伸ばしてると“n”と舌で切るの。

……大事な事を言うと、「この天上には神様が住んでいるに違いない、」と。“Va--ter woh-nen.” 今のは、「…住んでいるかしら?」だ。だから“n.”と言い切る。“n”に行くスピードが問題だし、ちゃんと響きが残るから、次の演奏(627～)に移れる。神様が答えてくれているわけ。

“Ihr_…” そしたら、「ちゃんとヒントをあげますよ…」と。そうなんですから、この部分で「神様、あなたはそこにいるでしょ!」と念を入れて言わないと。ちゃんと“!”で終わって。



- 631 【Ihr_ stürzt~】 ここからは、あなたたちが神様の言葉を代わりに歌っているわけです。…そうそう。だからここはキャラクターが違うわけです。ここまででは「神様、お願いします!」って歌ってたところが、“Ihr_ stürzt…”からは神が声なんだよ。神様の本当は内なる声を代わりに歌っているわけです。そういう意識で歌ってみてくれる。それまでの“Va--ter woh-nen.”と同じニュアンスじゃなくて、曲調も変わったし、もうちょっとまっすぐというか、神様になったつもりで。

- 633 【Mil-li-】 こここの直前のプレスで世界が変わってしまっている。“…nie-der,”まではとてもいい感じだった。ここまでが“ぬかずくか諸人よ”ここまでがワンフレーズなんです。そして“Mil-li-o-nen?”ですから同じ音色なんです。小さな“?”だから、今の歌い方だと“ホントに?!”って詰問されているみたいです。慈愛に満ちて歌ってください。

- 634 【o-nen?】 ここもおんなじよ。口を開けたまま。神様のほうが口を動かさないよ (笑)。そりや、そうだよね。「我々を助けて!」と言われるんだから、神様のほうが「うん、たすけてあげるよ!」って言わない (笑)。神様はもっと敬虔、「額突くか諸人よ…」と言うんだから。
…… “ネエヘン” ぐちゃぐちゃ動かない (笑)。

- 642 【zelt!】 これがみんな短い。これまだcresc.の途中なの。

- 650 【ü--ber】 この前の部分“woh-nen,” (646)で歌い終わったら、口をそのままにしておくの。そし

たら647小節から始まる間奏はエコーなんだから宇宙じゅうに“woh-nen,” “woh-nen,” …と響いているわけなんだけど、なぞなぞみたいに音が動いてくる。でもここから始まる音は、さっき歌い切った音と同じ音なんだから、間奏は聴いているふりして聴かないの。絶対、「ここから下がる、下がる!」とか言われてるでしょ。そんなの気にしなくていい。下がるのは自然なんだから。だいたいコーラスは始まってから下がっていくのがなぜかというと、気持ちいいからです。上の音が出ないから下がるんじゃないんです。そういう人もいるかもしれないけど(笑)、音程というのはちょっと暗め暗めのほうが気持ちがいいんです。だから下がることをそんなに恐れなくていいから、それよりも“woh-nen,” (646)と言い切った続きでもってここは歌い始めてほしいんです。



- 655 【Freu-de, schö-ner~】 2分音符がちょっとボコボコしている。一番大事なのはね、“Seid_um--schlun-gen, Mil-li-o-nen!” の横の感じの母音が収まってしまうのが速すぎる。もう一踏ん張り、大変だけど、母音はなるべく丁寧に伸ばす。で、しっぽを子音で包む。プレスする時間もなくなるぐらいで大変なんだけども、もう一息、付点4分音符が長いと思ってくれる。ソプラノの“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken, Toch-ter aus E-ly-si-um,” は4分音符が大事なの。

……4分音符のところだけ手を叩いて歌ってみてください。ほらほらみんな、お酒飲む席みたいになってるよ(笑)。これが騎馬民族のリズムだから。たたいた手は離すの。もみ手するからいけない(笑)。皆でいっしょにやってみましょう。後でほかのパートも出てくるんですから。

……いいですか、ここオーケストラは8分音符でずっとやっていってるわけです。特にコントラバスなんか目が回りそうなんです。みなさんが“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken, Toch-ter aus E-ly-si-um,” と歌ってるときにはチェロも8分音符を…。今はみなさんは4分音符で手を打ってるわけですから、やさしいはずなんです。…今、なにがいけないかというと、2分音符の伸びが足りないんです。…そしたら、こうしようか。2拍目はどこか頭でも触ってパン、触ってパン… “Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken, Toch-ter aus E-ly-si-um,…” 老化防止には絶対いいから(笑)。…そうそう、全然さっきとリズム感が違う。

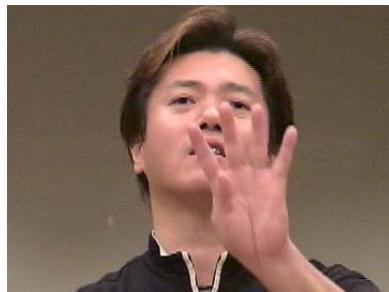
……(762小節まで全部通して) 全部やったけど、素晴らしいよ。これにちょっと毛のはえた程度のテンポでいいんです。全然速い必要はないから、今のだと息が要ってきついからもう少し速いぐらいで充分。今だと音符の中身が“ラッパッパッ パッパッパッ…”と勘定しているから2分音符が抜けないし、4分音符のありかもはっきりするし、全体の性状からしても最初の倍ぐらいいい。だから6/4のリズム感を活かしながらやると、真ん中が抜けないよ。2分音符と4分音符の練習だと、音符が抜けちゃってオーケストラとやったときに合わなくなってしまうよ。



- ★ 655 【お話し】 オーケストラはずっと8分音符を奏でているわけだから、オーケストラでもコーラスでも大事な事、「一番細かい音符のことを考えなさい」と僕が一番最初に指揮を学んだ金子先生に言わされたのね。「一番細かい音符が弾けるような速さ」どんなに速くても人間の手というものは限界があるんだから、それを超えるようなテンポでやりたくてもそれは無理というものなんです。だから逆算していろいろ考えなければいけないし、ここなんかはいろんなことがあるから、それを考えると

いうこと、横の線を考えること、ドッペルフーガ（二重フーガ）になっているということ、それで一番大事な事はテーマのスタート。“Seid_um--schlun-gen, Mil--li--o-nen!” これはもちろん大事。

“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken, Toch-ter aus E-ly-si-um,” これも大事。この2つの言葉が出たときには当然のことながらちょっとアピールして。僕もしっかり合図も出しますから。…もう一つ大事なことは、そのスタートだけじゃダメなんだよな。それは “Seid_um--schlun-gen, Mil--li--o-nen!” そのアイデアを全部そこで言わなければいけない。最終的には全部ちゃんと歌えということなんだけど（笑）。物事の順番としてはまず音のスタートをしっかり認識する。それから塊で意識する。そういう段取りでいくと、この2重フーガはとってもいい組み合わせになっていますから、あと何日?、ま、寝ないでやればなんとかなるんだ（笑）。



- 795 【Dei-ne Zauber,～】 僕はここに入るとき、必ず「4,3,2,1…」って合図しますけど、その前まで皆さんは真空状態で待っていないで（笑）。「私たち、いつ入るの？」じゃなくて、余裕を持って。そしたら僕が合図を出すから、そしたら満を持して“Dei-ne Zau-ber,…”と出てきてください。“あなたの魔力が…結びつける”と、皆で共感していかなければならないんです。

- 806 【Al--le～】 “Al--le Men-schen,” の“A-”は素晴らしいね。とってもリズム感があるしね、なんかはち切れんばかり。でも問題は“すべての人々、すべての人々…”だから“A-”はもちろん欲しいんだけど、“Men-schen,”も欲しい。



- 855 【Seid_um--schlun-gen,】 これはさっきは“Seid_um--schlun-gen, Mil--li--o-nen!…”というものを感じて歌った歌詞なんですけど、それがいきなり行進みたいになっている。言葉のニュアンスは大事なんだけど、“Seid_um--schlun-gen, Mil--li--o-nen! Die-sen Kuß der gan-zen Welt!”と言ってみて。でも我々はどうしても“速い”と“固い”と“強い”とニュアンスが一緒になってしまうの。だから“遅い”と“柔らかい”と“弱い”が反対。だからここはニュアンスはそんなに速くなくていい。だけど固さは欲しい。強さも欲しい。だから「一番大事なことを内緒で一番大事な人に伝えるつもり」で歌ってほしい。意味を考えて“いただき合え諸人よ”“この口づけを全世界に”。“Seid_um--schlun-gen,” “Mil--li--o-nen!” “Die-sen Kuß der gan-zen Welt!”これが一塊なんです。ここで一番大事なのは“Die-sen Kuß”。それをみなさんは潜ってしまってる。そして“Seid_um--schlun-gen,”はバタフライじゃなくて平泳ぎなんです。
……音が降りているけど、音量は下がらないように。もっと開く、わかった?!

- 919 【Göt-ter-fun-ken! Göt-ter-】 “Göt-ter-…”の“G”はもっと音の角を出していいな。今のはちょっと“ンゲ…”と鼻濁音みたいに聞こえている。

◆楽しい練習で充実しました。

◆今日は今まで一番の出来。現田 先生かっこいい。

◆風邪（のど、咳）をひいてしまいました。健康管理に気をつけます。本番はベストコンディションで臨みたいです。現田先生の若々しいご指導、ありがとうございました。（夢子）

◆今日は現田先生の指導日なのに最悪です。昨夜から胃痛で眠られず、結局仕事を休んでしまいました。病院に行って薬でなんとか症状は落ち着いたものの、丸1日以上何も口にしていないのでお腹に力が入らず声がでるかどうか…なのに、練習に来ているというこの「第九」病!!これは治りませんね。（セロ弾きのゴーシュ）

◆はーー。なんとか声が出るようになったかなあ～。しかし、現田先生、かっこよかったです。とにかく、わかりやすかった!!（ユジン）

♥現田先生のご指導、メリハリがとってもあって、夢中で歌っていました。内容についての先生のイメージも教えていただいて、本番が楽しみ!暗譜はまだだけ…（Chocco）

◆今日はカゼをひいてしまい、声が出ません。せっかくの現田先生の練習だったのに残念です。本番までにはきちんと治したいと思います。現田先生、ありがとうございました。

◆現田先生、お久しぶりです。とても楽しみながら曲のすばらしさを感じながら歌えました。先生の指揮をみると風景がおもいうかぶようで、曲に純粋に入り込んでいる自分がいました。復習しながら本番をがんばります!

◆現田先生、ますますお若く男前でした。（You-You）

◆現田先生の指導を受けるのは初めてでした。解りやすくポイントをおさえて教えてもらい、とても歌いやすくなりました。言葉のまとまりを考えて言葉を大切に歌えるように努力し、気持ちをこめて歌えるようにしたいです。とても楽しくあつという間に時間が過ぎてしまいました。

◆皆さん、風邪をひいている方が多いようですね。体調を崩さぬよう気をつけます。（S.N.）

◆本日はソプラノの人数が多くて、すごく歌いやすかった。チケットも売らなければ。お客様いっぱいになればいいな。（m♪）

◆現田先生の詩にのとて表現力豊かなご指導、数秒前を予感し、image-create、そして声を。言葉の語りが今日はとても響いた時間でした。本番に向けて忘れないよう、しっかり歌いたいと思います。ありがとうございました。

◆今日は体調不良でしたが、現田先生が来られて元気になりました。所々ごまかして歌っていたところがあったので、もう一度そこでの発音を確認して本番に臨みたい。（ナツガール）

◆体を使っての解りやすいご指導、ありがとうございました。

◆久しぶりにお会いした現田先生に皆さん“お若い”楽しい練習でした。今日の練習を忘れないよう、本番まで頑張りましょう。（プンちゃん）

◆次第に合唱の声がすんでいくのがわかりました。

◆「想像して創造する」第九に限らず、素晴らしいことばですね。イメージを膨らませて本番にのぞみます。（メダカのおばちゃん）

◆とても楽しく歌えました。年に2回は指揮者に来てもらいたい。声がうまく出ました。（櫻子）

◆いつもより声が出ました。

♥現田先生ありがとうございました。先生の魅力と勢いに「目からうろこ」でした。（森アンドレ）

♥楽しみに待っていた現田先生のご指導、若さととても分かりやすいご指導に感激!!ありがとうございました。（オバタリアン）

♥「天の魂の叫び」いい知れぬ感動、すばらしい現田先生のご指導が受けられ、のべおか第九は幸せです。（Dynamite Lady）

♥熱気あふれる現田先生のご指導、楽しかったです。ご注意をしっかり復習して本番に臨みたい

と思います。（スピカ）

♥もうすぐ10回目の本番がやってくる。2歳だった娘は中3になつて、来年からは父娘で高らかに歓喜の歌を歌うことだろう。肯定的なイメージを持つことで、明るい明日もむかえることができる!と信じています。（おJi蔵さん）

♥現田先生の練習、本番間近を切に感じるが、今回は練習が確実に不足しました。反省します!!

♥現田先生の若さと熱意あふれるご指導で、思わず声がたくさん出ました。とっても意義深いご指導でした。（美智子）

♥現田先生は身体全体で指揮をされるので、歌いやすい。ノリが良いのかな?本番は言われた事、イメージしながら本番は歌います。（KK）

♥気がつけばもうすぐ12月じゃないですか!!…以上です。（けんちゃん）

♥とても楽しい現田先生のご指導でしたネ。分かりやすくて当日が楽しみです。がんばりましょう。（ねずみバーバ）

♥現田先生の楽しいご指導で何となくうまく歌えた気分です。

♥今日は現田先生のご指導、久しぶりに元気が出ました。いよいよ本番まであと2回がんばろうね。とても楽しくなりました。現田先生はヨン様みたい。若々しいですね。好きになりました。ドキドキしますね。（アッちゃん）

♥現田先生の指導、とても楽しかったです。あつという間に時間がすぎました。（日向キルトママ）

♥あと何回しか残っていない練習なのに、まだ暗譜ができていないので不安でしたが、現田先生の指導は楽しく分かりやすかったです。

♥現田ワールドに引き込まれて、とても高密度の練習で、一つ一つのご指導が心に染みました。忘れず本番で全力を出せるよう宅習します。（よっち2525）

♥今日は現田先生の指導日で、とてもユニークな教え方で楽しかつ

たです。

♥現田先生、ご指導ありがとうございました。何か要を得た感じがしました。本番に向け頑張ります。

♥初めて現田先生にお会いしました。思っていたより若くてかっこよかったです。先生の言葉はとてもわかりやすかったです。本番が楽しみです。(Kiri yan)

♥今迄の練習時にも常に言葉の意味を考えながらと注意されてきましたが、今日、現田先生のイメージの取り方の指導で何となく解ったような気がしました。(R)

♥久しぶりに現田先生の指導、とてもわかりやすいです。(すずめ)

♥現田先生のわかり易いご指導にうっとり(いやいや)
うっとりしちゃいけません。めりはりがついてきたように思います。

♥現田先生、ヒゲがなくなって若くなっています。わかりやすい指導でらくに歌えた気がします。33ページは「エコーなんだから間奏は聞かない!」なるほどと思いました。が、ついつい耳がダンボになってしまいます。

♥指揮者の先生に声を引き出される状態でした。(Y.N.)

♥現田先生のご指導は久しぶりにとても楽しかった。歌い方も解りやすかった。(ヨッchin)

♥現田先生のご指導、とってもわかりやすく楽しかったです。

♥現田先生のたった一度のご指導が何回分にも匹敵するくらいの充実感と達成感を感じました。ありがとうございました。(ドウリンク)

♥現田先生のご指導、楽しく有意義でした。本番が待ち遠しいです。(たぬき)

♥若々しい現田先生、いよいよ先生の指揮で第九の合唱が近づいてきました。しっかり頑張らなければと、力を入れています。

(Hamu-Star)

♥現田先生のご指導(初体験)、エネルギーッシュですばらしかったです。本番が楽しみになりました。(不安もありますが)(leoの



ママ)

♥現田先生、楽しみにしていました。とてもエネルギーッシュで体中が元気になった感じです。反省することばかりです。本番までには先生のご指導どおりになりたいです。(光ちゃん)

♥いよいよ本番が近づいて来ました。チケットも売れたしホッとしています。現田先生にお会い出来てうれしいです。(チエリーちゃん)

♥現田先生はとても若々しく、たのしいご指導でした。本番に向かって頑張ります。

♥さすが現田先生、わかりやすい指導で自信がつきました。

♥若々しい現田先生のご指導、楽しく歌えました。ポイント、ポイントをしっかり教えてくださいました。本番をめざして頑張ります。

♥現田先生の練習日を楽しみにしてきました。

♥玉木さん、聞こえますよね。皆

で待っています。祈りを込めて千羽鶴を折ります。(ドリーム)

♥現田先生の指導は、さすが勉強になりました。

♣現田先生のご指導、これぞ幸いの限りです。

♣素晴らしい指導でした。

♣おつかれ様でした。現田先生の指導、とても分かり易かったです。色々とイメージを持って練習したいと思います。

♣この世は寒くて不安がいっぱいですが、空の上にはきっと優しい父君が住んでおられるにちがいない、きっとそうだ!(ヒロー)

♣今日の指導を本番まで。

♣元気でみんながんばりましょう。(ねこふんじやった)

♠平日はツライんですけど、本番まであとわずかなので、仕事をサボってやってきました。でも来て良かったです。

♠昨年のスーツが入るかどうか心配です。今日はとても楽しかったです。

♠歌のイメージが先生のジェスチャーからよく理解できた。本番で忘れないように歌いたい(HK)

♠さすが現田先生!!

♠3年ぶりの現田先生、ヒゲがなくてサッパリ。さすが分かりやすいし、力がこもって歌いやすいし、何より楽しい。(グリーンヒル)

♠すっきりした指導で、すっきり終わって、ものすごく短く感じました。若い!(K.T.)

♠今夜はとても充実した練習!(がみchan)

♠良かった。歌いやすかった。先生の教え方はわかりやすかった。(テッチャン)

♠今日の現田先生の練習は、すんげえ～ショーネが入りました。(引っ込み爺やん)

●編集後記

次回は12月10日(金) 19:00~21:30

前回の現田先生の指導をまとめ終わりました。第九だよりの記事の主なものはこれで終わり。この記事で復習して本番にそなえてください。いよいよ次回が本年最後の発行になります。【munenor@horita.jp】